

ルカによる福音書

一章四十七節～五十五節

マリアの賛歌

47わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。

48身分の低い、この主のはしのために目を留めてくださったからです。

今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。

49力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。

その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

51主はその腕で力を振るい、思いつける者を打ち散らし、

52権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、

53飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。

54その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません。

55わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。

ピートルズの「Let it be」という歌をご存知でしょうか。

「Let it be」は「なすがまま」とか「そのまま」等と訳されます。

この「Let it be」は、もともと、イエス・キリストの母マリアが天使ガブリエルから「あなたは身ごもって男の子を生むという」お

告げを受けて、「その言葉通りこの身に成りますように」と応えた言葉「Let it be to me according to your word.」です。このお告げがあった日を、わたしたちの教会では、「聖マリアへのみ告げの日」とよび毎年三月二十五日に礼拝を守っています。

さて、天使ガブリエルがマリアに、イエスさまを身籠もったという受胎告知の後、マリアは「マリアの賛歌」を歌います。その冒頭の箇所が、このルカによる福音書一章四十七節～五十五節の聖書の箇所です。

幸いとは？

マリアがイエスさまを身籠もったのは、マリアが十代前半だったと思われ、子どもは、婚約者ヨセフの子どもではありませんが、姦淫の罪を犯した者は、石打ちで処刑されるのです。そんな中でもなにか状況にあるマリアが、この妊娠を受け入れて、神を讃美したのがこの「マリアの賛歌」です。命を奪われるかも知れない、そんな状況なのに、マリアは、神さまを崇め、神さまを喜びたえています。そして、さらにマリアは世の人々が自分を幸いな者と呼ぶのだと高らかに歌います。

わたしたち人間は、自分の困難な人生を思い、不幸だと嘆きます。悲しみの多い毎日に、希望を失ってしまいます。どうして、マリアは困難に直面しているのに、自分を幸いな者と呼ぶことが出来るのでしょうか。

ら、救い主の母となることが名誉だったからなのでしょう。そうではありません。

この後のマリアの人生の歩みを見て、イエスさまが産まれる、ベツレヘムでも、夫ではない子どもを宿した女とその連れ合いを、泊めてくれる家はありません。イエスさまが産まれてからも、ヘロデ大王の追っ手を避けて、エジプトに逃避行です。そして十字架のもとで、最愛の息子の死を目の当たりにするのです。幸いとはかけ離れた、人生の歩みのように、わたしたちには思えます。

しかし、この聖書の箇所は、人間の幸いとは、試練や苦しみ、悲しみが無い状況ではないことを、教えてくれています。たとえ、悲しみが絶えることなく、困難や苦しみの多い、人生であったとしても、わたしの人生が意味のある人生であることを、知っていること。それが、幸いなのだと語るのです。だからこそ、マリアは、多くの悲しみが待ち受けている、困難が続くかもしれない自分の人生が、しっかりと意味のある、命を光り輝かせるようにと、祈られている、それは幸いな人生であることとを、心から喜び歌うのです。

これは、イエスさまの母マリアの人生に限ったことではありません。わたしたちすべての人間の人生は、与えられた命を、光り輝かせるようにと、神さまから祈られています。試練の多い、悲しみに満ちた人生かも知れませんが、わたしたちの人生は、確かに意味があることを、しっかりと憶え、マリアとともに、このわたしの素晴らしい人生を、喜び歌いたいと思えます。

(日本聖公会 名古屋聖ヨハネ教会 司祭 後藤 香織)

二〇一三年度 法人全体基本方針

三月二日理事、評議員会が、開催されました。障害者自立支援法全面改訂までの間の法律、児童福祉法の一部改正、介護保険の見直し等が、実施された一年の実践を踏まえ、二〇一三年度の法人全体及び各事業所基本方針が確認されましたのでお伝えいたします。

テーマ

私たちの理念と実践を「記憶」し、「文化」として育てよう

- 一、二〇一四年四月「東部地域療育センター」の開設にあたり、すべての職員の総意と多くの関係者のご支援を受けながら、子ども・家族のねがいの実現に向け丁寧な準備をすすめていく。
- 二、東部地域療育センター及び緑区の療育拠点の開設を含め、より広範な地域と多くの事業所職員のもと、法人全体の事業所運営が方針に基づいて運営できるように、人材育成等法人の組織運営・経営管理の充実を図る。
- 三、常任理事会の構成を検討し、常任理事会機能を高める。
- 四、東部地域療育センターの組織機構の検討をすすめる。
- 五、法人事務局の管理運営体制及び経理・庶務管理業務の改善を図る。
- 六、各事業所における実践を名古屋キリスト教社会館の「理念」と「実践のねらい」に即して評価し、全職員の「学び」・「記憶」となり、持続的な実践向上につながるような運営に努める。
- 七、実践評価の進め方を工夫し、意見交換を丁寧に行い、職員の資質向上を図る。
- 八、関係福祉団体、研究団体等と連携し、理念と実践を検証する。
- 九、すべての人々がかけがいのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していく社会を築くことをめざすとする私たちの理念に基づく実践によって、社会福祉制度の矛盾と課題、地域福祉の課題をとらえ、福祉の専門家として矛盾が解決するように役割を果たす。
- 十、市場、競争原理によって移り変わる福祉情勢をとらえ、分析し、利用者にとって必要とする福祉のあり方を追求する。
- 十一、制度改正と福祉を取り巻く情勢のもと、すべての人の人権が守られ培われる、地域づくりの働きをすすめる「社会福祉法人」のあり方を明確にする。
- 十二、それぞれの社会福祉団体の運動に連携し、社会福祉の充実、改善に努力する。
- 十三、「福祉ニーズ」を持つ当事者と共に歩むことを基本とし、法人内の各事業所・理事・評議員・地域・関係者とのネットワーク、行政との協働に心がけて事業を進める。
- 十四、理事・評議委が加わる委員会活動（ミッション委員会・中期計画委員会・地域福祉委員会・危機管理委員会・苦情解決委員会・人事委員会）を継続してすすめる。
- 十五、地域公民会活動に参加・協力しつつ、地域住民との相互理解を深める。
- 十六、ニーズを持つ当事者・地域・行政とともに考えあひながら、福祉のまちづくりを進める。
- 十七、実践から見え、検討した政策提言を行政に伝え、行政との協働が行えるような運営をすすめる。
- 十八、未曾有の被害をもたらした三・一一東日本大震災・原発事故から生じている社会問題を「記憶」に留め、福祉社会の実現のために、人権・平和・環境の問題に取り組む。
- 十九、被災地及び県外避難者のニーズに即した震災支援活動を、関係団体と連携しながら継続する。
- 二十、「原発問題」を理解し、「原発にたよらない社会」に向かう取り組みや市民運動に連帯する。

笑顔の作品作り



デイサービス愛では、利用者さんが全員で取り組む壁画作りが好評です。季節やその月に沿った題材を考え構図を決め下絵を描きます。ちぎりが基本になっていますが、何かおもしろい材料はないか探してうまく使う事を考えます。葡萄を作る時も立体的にしたいと布を使い一粒一粒作って房を仕上げていきました。出来上がってくる

「美味しそうだね」と皆の顔はほころんでいました。ネットに吊るし見事に完成しました。10月に作った「みこし」のちぎりは、バザーのポスターに採用され励みになりました。1月から2月のテーマは、「梅とウグイス」。バックは絵具で色をつけ、木の枝とウグイスはちぎり絵で、梅の花は折り紙で作っていますと決めました。進めていくと利用者さん、職員

デイサービス愛

アートプログラム

ホーム社会館では余暇の一つとして絵画（アートプログラム）にとりくんでいます。現在は「ホーム社会館認可10周年の記念モノユメントづくり」に仲間たち全員でとりくんでいます。

その中でも今回は、ホームで暮らすMさんのアートプログラムでの様子をご紹介します。当初は「うまく描けるだろうか」「まわりの人がどう思うかな」という不安がMさんにはありました。どことなく人の目を気にしながら描いているようにみえました。褒めてもらえる絵を描きたいというのには誰にでもある感情だと思えます。そういう意味では、Mさんにとっては楽しいだけでなく辛さを感じる時もあったと思います。そんな状況の中、大事にしたのは、ホームの世話人も一緒に絵を描き楽しさを共感すること、作品の評価を簡単にほしくないこと、とにかく自由に好きなように描いてみようということでした。

ホーム天歩



TEL 612-1112 FAX

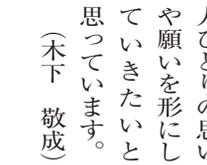
「私も「こうした方がいいよ」「この色が合っていない？」とアイデアがでてきます。皆さんと試行錯誤しながら作っていきましたが、出来上がった花を見て「樁ですか?」「桜?」と言われ、ウグイスは「ハト?」「ホオジロだよ」とシヨックな言葉。挙句には、「ホーホケキョ」と書いておけば」とまで言われてしまいました。

そんな事を言いつつも出来上がっていく作品を見て皆さんの顔はほっといい笑顔で満足気です。少しずつ手直しをして「良くなってきたね」と自信作になりました。

これからの、利用者さんだけでなく、職員だけでもなく「デイサービス愛」にかかわってくれるすべての方からアドバイスをもらいながらの作品づくりを楽しみにしています。白い壁に飾った作品を、是非、見にきてください。壁画だけでなく利用者さんのあふれる笑顔も。

向かうMさんに。今では誰もが驚くような集中力で描き続け、たくさんの作品がうまれていきます。そんなMさんの姿は自身自身の気持ちをまるで見え放っているようにさえみえます。自分のままでいい、自由に描くことそれが表現だと。

ホームは生活の場ですから、社会の中で生きていく厳しさやうまくいかないこともたくさんあります。そういう中でも、自分自身と向き合う場、自分自身を表現できる場があればこそ、自分自身を信頼していく力が育っていくのだとMさんから学ばれています。今後アートプログラムを通して、一人ひとりの思いや願いを形にしていきたいと思っています。



TEL 792-7277 FAX 792-7258

「やってみようかな」と自分から挑戦したい意欲が出てきました。また、自分で風を作り、揚げているうちに「もっとやりたい」と意欲を高め、破れると「次回もっと丈夫にしたい」と目標を持ち、期待して参加しました。公園にあそびに行くことが、またお家のような雰囲気、リラックして過ごしています。

中学生は、バスや電車に乗って外出する社会経験を大切にしています。「行くこうよ」と友だちを誘いに行く姿がたくさん見られています。また、室内プールで身体をおもいっきり動かしたり、個々のペースで楽しむ中でも、お休みの友だちを気にしたりと「仲間」への意識の高まりを感じています。

小学生は、継続してとりくんでいるプールでは、友だちの姿を見て

きずな・えがお・なかま

仲間と一緒にうれしいね



「やってみようかな」と自分から挑戦したい意欲が出てきました。また、自分で風を作り、揚げているうちに「もっとやりたい」と意欲を高め、破れると「次回もっと丈夫にしたい」と目標を持ち、期待して参加しました。公園にあそびに行くことが、またお家のような雰囲気、リラックして過ごしています。

中学生は、バスや電車に乗って外出する社会経験を大切にしています。「行くこうよ」と友だちを誘いに行く姿がたくさん見られています。また、室内プールで身体をおもいっきり動かしたり、個々のペースで楽しむ中でも、お休みの友だちを気にしたりと「仲間」への意識の高まりを感じています。

小学生は、継続してとりくんでいるプールでは、友だちの姿を見て

デイサービスACT



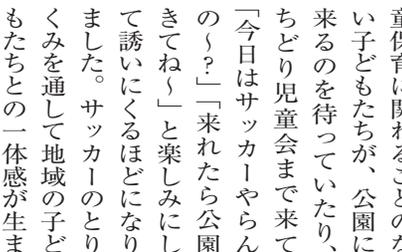
TEL 612-3411 FAX

「やってみようかな」と自分から挑戦したい意欲が出てきました。また、自分で風を作り、揚げているうちに「もっとやりたい」と意欲を高め、破れると「次回もっと丈夫にしたい」と目標を持ち、期待して参加しました。公園にあそびに行くことが、またお家のような雰囲気、リラックして過ごしています。

中学生は、バスや電車に乗って外出する社会経験を大切にしています。「行くこうよ」と友だちを誘いに行く姿がたくさん見られています。また、室内プールで身体をおもいっきり動かしたり、個々のペースで楽しむ中でも、お休みの友だちを気にしたりと「仲間」への意識の高まりを感じています。

小学生は、継続してとりくんでいるプールでは、友だちの姿を見て

地域とのつながりを大事に



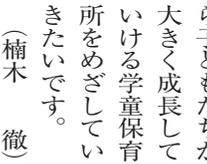
毎年2月に南・港区の児童保育所で「南部児童保育合同サッカー大会」を開催しています。子どもたちは冬になると公園に行き、そのサッカー大会を目標にはりきっていました。ちどり児童会では、サッカーが好きな男子だけでなく、「勝ち負けだけでなく、仲間と楽しくやろう!」を合言葉にみんなが参加することを大事にしています。

公園で遊んでいる同じ学校の友だちや地域の子どもたちにも「一緒にやろうよ」とサッカーに誘ってききました。サッカーが得意な子もいて、学童の子にはいい刺激になり、地域の子どもたちには「こんな大勢でやるのはじめて!」「めっちゃ楽しいからもっとやりたい!」と新鮮だったようです。何度か一緒に遊んでいる内に、普段学童保育に関わることのない子どもたちが、公園に来るのを待っていたり、ちどり児童会まで来て「今日はサッカーやらない?」「来たら公園きてね」と楽しみにして誘いにくるほどになりました。サッカーのとりくみを通して地域の子どもたちとの一体感が生まれ、地域とつながっていることを実感するものがありました。

先日、地域の公職者の方々に参加していただき運営委員会を開催しました。子どもたちの写真とともに日頃の生活や取り組み、行事をお伝えしました。「学童の子たちは貴重な体験をさせてもらっている」「何より子どもたちの笑顔がいい」「仲間と一緒に経験することに大きな意義がある」などちどり児童会への御理解と期待の感想をいただきました。

これからの地域の大人の方々にもっと「学童保育」の良さを伝えし、地域の中で人とのつながりをつくりながら子どもたちが大きく成長していける学童保育所をめざしていきたいです。

ちどり児童会



TEL 612-1346 FAX 611-9085

「やってみようかな」と自分から挑戦したい意欲が出てきました。また、自分で風を作り、揚げているうちに「もっとやりたい」と意欲を高め、破れると「次回もっと丈夫にしたい」と目標を持ち、期待して参加しました。公園にあそびに行くことが、またお家のような雰囲気、リラックして過ごしています。

中学生は、バスや電車に乗って外出する社会経験を大切にしています。「行くこうよ」と友だちを誘いに行く姿がたくさん見られています。また、室内プールで身体をおもいっきり動かしたり、個々のペースで楽しむ中でも、お休みの友だちを気にしたりと「仲間」への意識の高まりを感じています。

小学生は、継続してとりくんでいるプールでは、友だちの姿を見て

名古屋キリスト教社会館後援会からのお知らせ

名古屋キリスト教社会館の創立 50 周年に合わせて、その働きを支え、自らも有意義で楽しい活動をすすめる独自組織として、2011 年 12 月に「名古屋キリスト教社会館後援会」がたちあげられました。(従来の賛助会組織は発展解消)

年会費 1,000 円

まだご入会されていない方は、是非この機会に、後援会にご入会いただき、共に名古屋キリスト教社会館のこれからの 50 年をお支え下さいますようお願い申し上げます。

会員のみなさまお誘いあわせて、下記におでかけください。楽しいひとときを過ごしましょう。
会長 岡村 恒義

2013 年度定期総会のご案内

- と き：2013 年 4 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時
- と ころ：名古屋キリスト教社会館 3 階ホール
- 内 容：①定期総会 (事業報告決算・事業計画・予算・役員改選等)
②文化を楽しむ企画 アルバ演奏と詩の朗読コラボ
③学びの企画 日本お笑い学会会員による腹話術と講話
テーマ：笑いっぱい、豊かなシルバーエイジ
④みんなでティータイム (クイズタイム)

これから
入会する方も
大歓迎です

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。
(敬称略・順不同)

〔一般寄付〕
在日米商工会議所 中部支部、吉田節子、宇田哲也、日本キリスト教団刈谷教会、名古屋キリスト教団名古屋中央教会、村瀬立二、前川憲明、日本キリスト改革派八事教会、日本キリスト教団半田教会、鈴木伊央、高橋榮一、齋藤襄、金城学院中学校、岡村恒義、岩田悦、岡村栄一、中村章二、寺田仁計、鈴木裕子、竹内猛、野村潔、鳥井一夫

〔後援会〕
〔震災被災金〕
高山均、加藤峯子、バザー実行委員会、岡村恒義、柴田謙治

〔父の指指定献金〕
加藤峯子
〔菜の花指指定献金〕
村瀬立二、松下千代子
〔みどり菜の花指指定献金〕
バザー実行委員会

献金・協賛報告

〔クリスマス献金〕
加藤峯子、大塚郁夫、長谷川百合子、坂倉出紀、須田桂子、岡村恒義、鈴木武二、高山均、岩田悦、高橋榮一、西村清、齋藤襄、若野一郎、名古屋西キリストの教会、岡崎教会、江川孝志、一麦教会、土屋徹子、加藤考一、名古屋新生教会、名東教会、豊田教会、柳サンゲツ、名古屋聖ステパノ教会、川口誠二、京子、愛知聖ルカ教会、湧井規子、山本秀子、日本基督教団御器所教会、名古屋キリスト教団、広路教会、名古屋キリスト教団、高等学校、日本基督教団東海教会、村瀬立二、日本基督教団赤池教会、和泉短期大学、日本キリスト教団春日井教会

〔ほほの指指定献金〕
神谷友之、近藤克輔

〔東部指指定献金〕
中澤洋、近藤高史、菅原美恵子、鈴木絵利、渡邊萌美、五十川薫、下妻幸美、八木武志、小野義徳、荒川とこ子、佐方希与子、笠嶋泰、小林牙子、鷲見修、和木しず子、磯部徹、明比輝代彦、小長覚

子、春日井豪、池住義憲、北原良男、大迫より子、山本ルリ子、瀧田祥勝、柳安井建築設計事務所名古屋事務所、廣井美奈子、那須國宏、清水章子、田口恵美子、三浦妙子、賀川智明、北原真典、今泉康一、小曾幸生、西村かほる、黒住紀子、湧井規子、武田美和子、野村潔、久納満喜、遅沢良子、松本勝正、則孝子、小川章子、平井妙子、山口勝也、阿部征彦、凌藤健治、樋井悦夫、岡迫博子、高森敏子、浅井純二、加藤文晴、山本隆将、柴田斉、堀場太陽、大橋洋子、廣井美奈子、教百合子、原和美、阿部哲己、中田照子、藤野興一、小林恵美子、和貞子、G's テップ 稲葉厚子、長谷川武夫、倉田和則、岡山喜美代、宮地義隆、吉田りよ子、近藤義雄、太田豊、大島和海、穴戸健夫、植田望、久保田晴美、小玉仁子、久米由美子、小本真未・登喜子、中村裕美、藤原佳子、松岡紀生、平谷治之、日本基督教団金城教会、小崎晋、水野宏臣、スンドウ、ハ、松山とみ子、岩月尚人、岩月彰枝、寺坂潤子、NPO 法人愛美の会、秋野勝紀、小谷治郎、

中島忍、森夕希子、田中友安、石橋満、城間裕子、坂口忍、鈴木一行、伊藤和子、迫田成男、池田魏義、山田朋久、人松本光一、加藤峯子、鉄井富士男、バザー実行委員会、和太鼓真輝、清水美智子、神田春美、岡村恒義、山田誠子、具志堅裕行、高木麻衣、角田琴美、酒本恵子、坪井佳子、井ノ口美也子、北高佐和子、今井恵子、富田千栄子、萩原喜久代、竹内啓介、早川晴仁、須藤昌子、木下渡、長谷川百合子、杉本充西田摩純、河村育也、松原真奈美、山本栄男、近藤すゑ子、栢植健太、蒼太、中村紀子、加藤幸子、西部地域療育センターキララ保護者会一同、富田智美、富田健太郎、中満達夫、安藤京子、蛭谷照代、森田豊、萩原昭子、越村良子、神谷喜美子、大川みさ子、川上紗和、仲田忠夫、近藤よし恵、河村篤、大嶋晶子、恒川修、加藤謙一、川口千穂、岩橋友美、高蔵寺ニュータウン教会、横尾真一、猪村正彦、小早川弘江、佐野内香、松山さとみ

(以上 12・12・3・15)

後援会が東部地域療育センター 建設募金委員会を立ち上げ

― 社会館の資金づくりを応援 ―

千種区猫が洞に東部地域療育センターが開所するのが二〇一四年の四月と迫ってきました。

東部地域療育センターは、これまでにも地域の子育てや発達支援の拠点の一つとして、たくさんの人たちが一日も早い実現を望んでおられました。

この度名古屋市の計画を、社会館が委託を受け、基本的に国や市の補助金によって建てられるものですが、設置・運営を担う法人として一定の自己資金を持つことも求められます。

また、既存の三か所の地域療育センターと同等の機能を持つようにと言われていますが、新たにできるセンターは、より良いものをつくりたいと願っています。

名古屋キリスト教社会館後援会は、ぜひ多くの方の小さな力をあつめて、この建設を実現したいと考え、「東部地域療育センター建設募金委員会」を立ち上げ、資金づくりを応援することを決めました。

よろしくご支援をお願い申し上げます。

目標額 三〇〇〇万円
募集期間 二〇一三年五月まで

詳しくは、ホームページ http://2nd.geocities.jp/trc_toubu または「2014 東部 センター」で検索。
(名古屋キリスト教社会館後援会 会長 岡村 恒義)

おでかけください!お申し込みは下記に!

マゴンスクールでは歌うことを通じ 悲しみや苦しみを癒し、
勇気・希望・いのちある喜びを高めあっている…。

祈りと風コンサート 5月17日(金)

東アフリカ・ケニアの首都ナイロビに 80 万人が住む巨大スラムキペラには、
孤児・貧困・虐待児童の寺子屋 (マゴンスクール) がある

- 場 所 日本特殊陶業市民会館 (金山総合駅からスグ)
- 連絡先 名古屋キリスト教社会館 / 電話 052 (612) 3370
- 協力券 2,000 円
- 主 催 ケニア・マゴンスクール 祈りと風コンサート実行委員会

社会館チャリティーイベント 満員御礼!!

東部地域療育センター建設資金づくりを目的として 2 月 24 日に開かれたチャリティーイベント「小さな山神スズナ姫 (人形劇団ひとみ座公演)」。当日、会場の今池ガスホールは満員の親子で埋め尽くされました。

演者と人形は一体となり、いつしか舞台であるスズナ山を自由自在に飛び回っていました。また、「ふくろでチュウ」と名付けられた封筒でネズミの人形をつくるワークショップでは、会場全体も一つになって楽しさを共有しました。

会場にお越し下さった方、チケットお買い上げいただいた方、協賛広告にご協力いただいた皆様。ありがとうございます。

このイベントの収益は、東部地域療育センター建設資金に充てさせていただきます。

編集後記

2013 年も早 3 ヶ月が過ぎ、新しい年度を迎える。2013 年度の法人方針、そして 4 面のいくつかの記事にも「東部地域療育センター」の文字が増え、東部への献金もとても多くなっている。いよいよ 2014 年オープンへの最後の一年。しっかりと準備して、よりよいセンターを法人全職員力で創り上げたい。

(A・S)

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、
本部事務局
612-3370
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、
加藤 考一 613-2718
小林 冴子 611-0401

お手軽 アクアパツァ 4 人分

お料理教室 白身魚と貝類を白ワインと水で煮込んだイタリア料理

- ・タイ切り身……4 切れ
- ・にんにく……1 かけ (みじん切り)
- ・オリーブオイル…大さじ 2

A	・アンチョビ……2 枚 (みじん切り)	B	・白ワイン…150cc
	・殺付きあさり…250g (砂抜き)		・水……150cc
	・ミニトマト……8 個 (へたを取る)		・塩……少々
	・アスパラガス…8 本 (3cm 長さに切る)	C	・しょうゆ…小さじ 1/2
	・しめじ……40g		・オリーブオイル…小さじ 1

(石づきをとってほぐす)

作り方
①フライパンにオリーブオイルとにんにくを入れて火にかけて香りをだす。タイの切り身を皮側から先に、両面を軽く焼く。
②A と B を入れて蓋をして中火で約 10 分、水分がなくならないように蒸し焼きにする。
③最後に C をまわし入れる。

アドバイス
・魚は鮭、たら、カレイ、さわらなど代用できます。
・メに残ったスープに、ゆでたパスタを加えても OK

この度、共同募金会からの配分金で発達センターちよだに軽車両を購入しました。

2012 年度はエコビレッジ志段味、苗代コミセン、引山コミセンへの出張療育グループなどに使用。2013 年度は定員 28 名になったちよだの子どもたちの送迎にも使用します。

ありがとうございました。

